

LINN KUDOS
AM / FM TUNER
OWNERS MANUAL

LINN **KUDOS** FM/AM TUNER

私達は、音楽は決して贅沢品ではなく、私達の生活に不可欠なものと考えます。このような信念のもと LINN はご家庭に優れた音楽再生をお届けする HI-FI システムの発展に力を注いでまいりました。

KUDOS チューナーを聴くことは、ライブ再生をお楽しみになる最も身近な方法です。FM再生ではCDに肉迫する音楽再生を達成し、まるで放送局のスタジオにいるかのように高感度/高音質で音楽をお聴きいただけます。

このような再生を得るには、どうすれば KUDOS の能力を最大限に引き出せるか、を知っていただく必要があります。このマニュアルには最初に KUDOS のセッティング方法が、そして次に操作方法が書かれています。

お使いになる前に、少しだけ時間を割いて、このマニュアルをお読みください。

KUDOS

KUDOS はFM、AMどちらの帯域もお楽しみ頂ける非常にフレキシブルなチューナーです。FM帯域において放送局から離れた場所でも歪みの少ない高品質な受信が可能です。

放送局をお選びになる際には、周波数のダイレクト入力はもとより、放送局ごとのスキッピング、50局までのプリセットが可能です。

フロントパネルでの操作、またリモコンによるワンタッチ遠隔操作も可能です。

sneaky KUDOS

既に MAJIK、WAKONDA をお持ちのお客様は、スニーキーモジュールタイプの KUDOS/S をアンプの中に内蔵して、よりコンパクトなかたちで御使用いただくことができます。

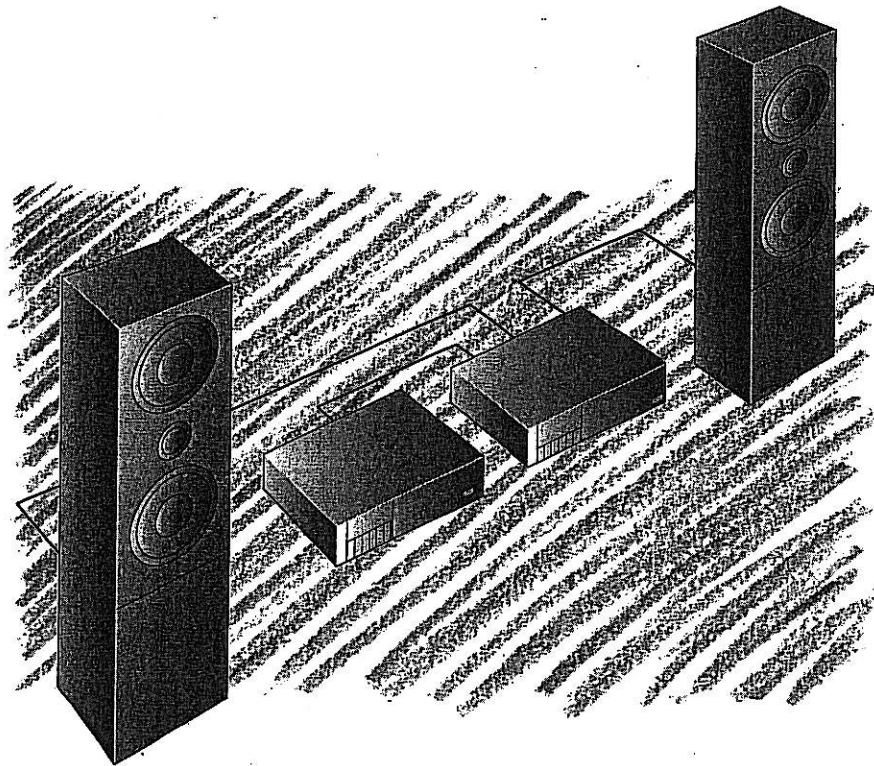
目次

1. LINN のシステム	2
2. はじめに	3
a. 内容物	3
b. 電源電圧の設定	3
3. 設置と接続	4
a. 設置場所	4
b. 接続	4
c. アンテナの選択	6
4. 操作	8
a. スイッチのON/OFF	9
b. チューナーの選択	10
c. 周波帯の選択	10
d. チューニング	11
e. 放送局のスキャン	12
f. プリセットの方法	13
g. 放送局の選択	15
h. プリセットされた周波数の表示	16
i. 信号強度の表示	16
j. ミューティング・スレッシュホールド	16
5. より良い受信のために	18
6. 仕様	21
a. チューニング	21
b. 仕様	22
7. 安全にお使いいただくために	23
8. 保証とサービス	25

1. LINN のシステム

HI-FI システムは3つのセクションに分かれます。入力ソース、コントロール、そしてプレイバックです。LINN の HI-FI システムは、どのセクションもご希望に沿った広い範囲から製品をお選びいただけます。また、後々アップグレードしていただく楽しみもございます。

KUDOS を含む、理想的なスタンダードシステムには、プリメインアンプ MAJIK、スピーカー KEILIDH という組み合わせがあります。



もちろん KUDOS は、LINN のトップシステムと一緒にお使い頂いても決して遜色ない音楽再生をお約束いたします。

2. はじめに(電源を入れる前に)

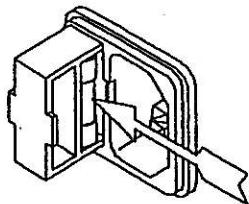
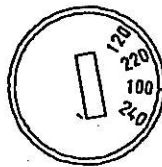
a. 内容物

KUDOS 本体
取扱説明書
電源コード
スペアヒューズ
RCAピンコード 1ペア

b. 電源電圧の設定

LINN の製品の大半は全世界仕様ですが、KUDOS は240V仕様に初期設定された状態で出荷されていますので、100Vに設定するまでは、電源コードを接続しないで下さい。

1. 本体底部の切替えスイッチで
100Vをお選びください。



2. 電源コード接続コネクタ左側のヒューズ
挿入部フタを開け、800mA-100
Vヒューズを装着してください。

注意：ヨーロッパ仕様のヒューズも入っております。御確認ください。

※できるだけアースをお取り下さい。

詳細は販売店におたずね下さい。

3. 設置と接続

a. 設置場所

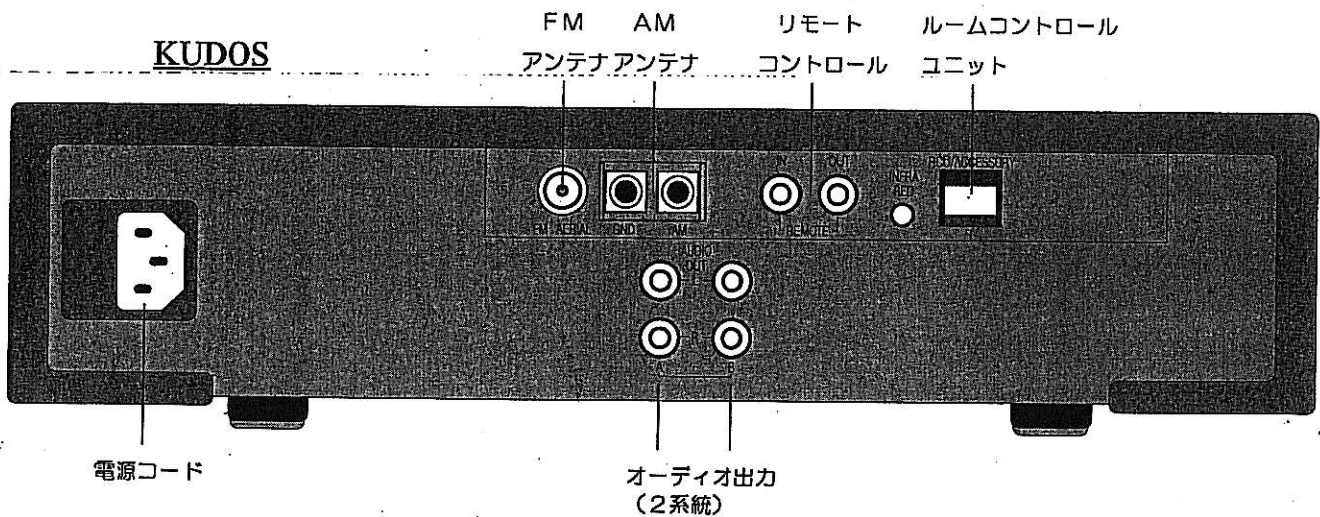
KUDOS はお客様のお使いいただき易いところに設置していただけますが、より快適にご利用のため以下の点にご注意下さい。

高感度リモコンを使用していますので、お部屋のどこにでも設置していただけますが、直射日光はお避け下さい。

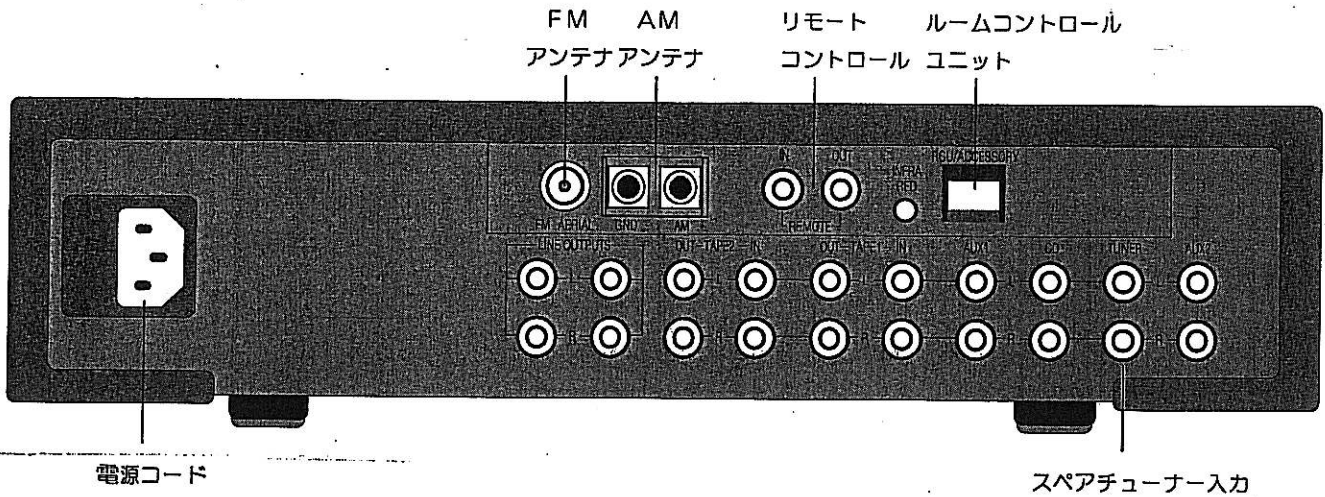
ラック等の色付きガラスはほとんどの場合差し支えありません。

b. 接続

KUDOS



sneaky KUDOS



1) 電源コードの接続

付属の電源ケーブルで接続してください。

注意 : ケーブル類の接続は必ず電源を切ってから行ってください。

2) KUDOS (単体型) のアンプへの接続

KUDOS (単体型) には2系統のオーディオ出力端子がついています。付属のピンコードで1組の出力端子をアンプのチューナー入力端子 (又は LINE 入力端子) に接続して下さい。もう1組は2台目のアンプ、もしくはマルチルーム方式になさるときに御使用いただくことになります。

3) sneaky KUDOS の接続

sneaky KUDOS はプリメインアンプ MAJIK、プリアンプ WAKONDA に内蔵するかたちで御使用いただくことになりますので、アンプとの外部接続は必要ありません。

4) アンテナとの接続

チューナー KUDOS は放送局からの電波受信のため、FM、AMのアンテナが必要です。くわしくは次の“アンテナの選択”の項をご覧ください。

c. アンテナの選択

KUDOS は非常に高感度で、高品質の信号を送り出すことの出来るチューナーです。しかし、チューナーの再生能力はご使用になるアンテナの性能に大きく左右されます。

アンテナの選択は、実際に放送を受信される地域の電波状況により大きく異なりますので、一概には申せませんが、ここではいくつかのパターンに分けてご紹介させていただきます。具体的には、各販売店の担当者にご相談下さい。

1) FM受信

優れた音楽再生の実現には、大入力局に対しては少なくとも70dB μ Vの信号強度が必要です。

フィーダーアンテナ

信号強度の大きい地域にお住まいの場合、フィーダーアンテナ（双極アンテナ）でもご満足いただける音楽再生が得られるでしょう。ただし、安定性に欠け、また室内の人の移動にも影響されます。コンピューター、テレビなどの機器の影響も受けやすいので、電子機器からは離して、例えば窓の側などに設置することをお勧めします。

直立型ロッドアンテナ

指向性がないので、よい信号が得られます。

三素子アンテナ

もっとも受信能力が高いアンテナです。8～10dB μ V以上信号強度を高めることが出来ます。また屋根、屋外のように高い位置に設置することにより、さらに10dB μ V強度を高めることが出来ます。高度指向性がありますので、効果を高めるためにも正しくセッティングする必要があります。

2) AM受信

直径1.8メートル以上のループ型ワイヤーをご使用下さい。干渉を最小限に抑さえ、強度の信号を受信します。ループアンテナは指向性がありますので、垂直に設置し、お聴きになりたい放送局に向かうかたちで設置することが大切です。干渉を防ぐため、コンピューター、テレビなどの電子機器、ケーブルなどから遠ざけて下さい。

詳細は販売店におたずね下さい。

4. 操作

フロントパネル上の操作

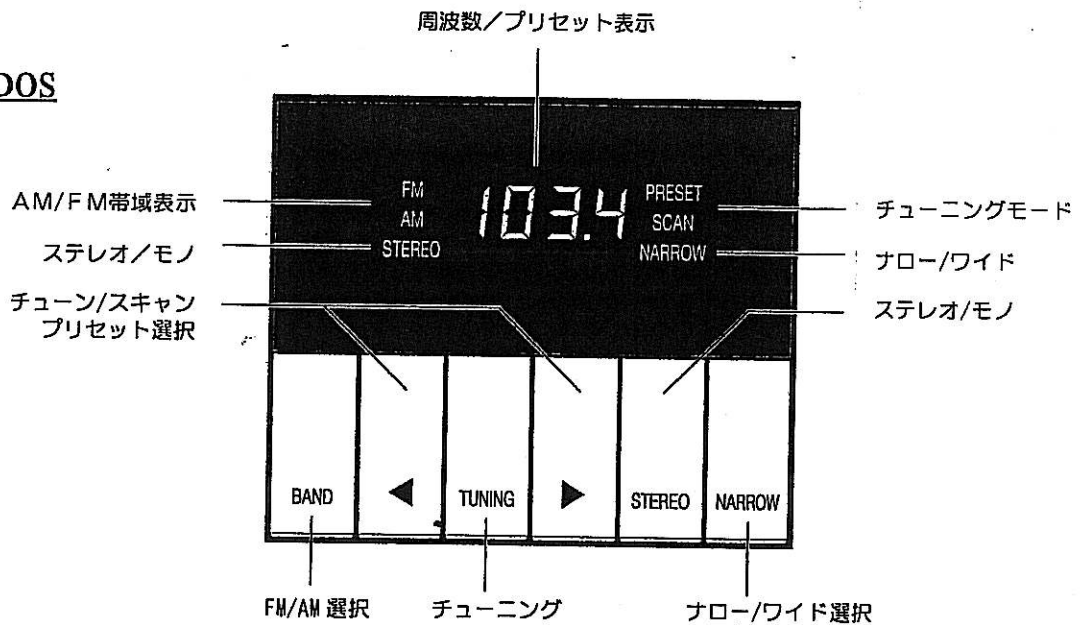
通常の操作はワンタッチ操作でご使用いただけるよう設計されています。現在使用中の操作内容はディスプレイに表示されます。

リモートコントロール

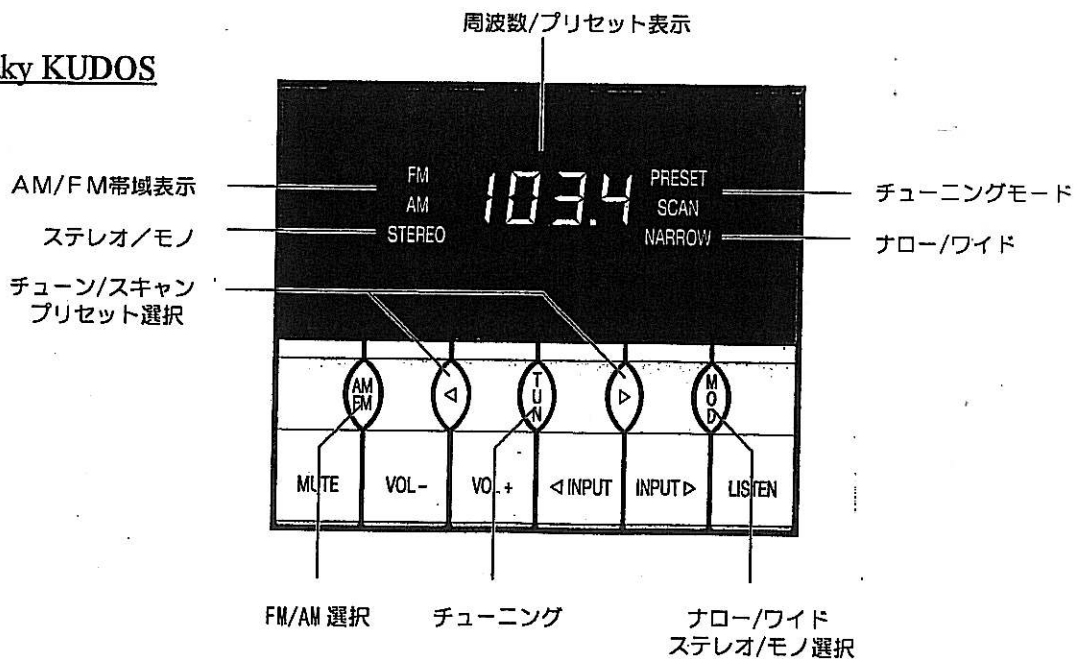
フロントパネル上の操作に加え、リモコン (KARIK KAIRN KREMLIN に付属) によるプリセット番号、周波数のダイレクト入力が可能です。

以下の図はコントロールパネルとディスプレイの機能の説明です。

KUDOS



sneaky KUDOS



ボタンの名称と操作内容

ボタンの名称	操作内容
BAND	AM/FMの変更
TUNING	ダイレクトチューニング、信号強度表示、プリセットモード、スキ ャンモード表示の切替え
◀ ▶	チューニングモードにより、周波数、プリセット、スキヤンの変更
STEREO	ステレオ/モノラル切替え
NARROW	キャプチャー幅 (ワイド/ナロー) 切替え
MOD	ステレオ、ナローのコンビネーション変更 (sneaky KUDOS)

a. スイッチの ON/OFF

1) **POWER** ボタンを押します。

プリセット0を選択、ディスプレイは“P 00”を表示します。

お好みにしたがって、あらかじめ選択される放送局を選択することも可能です。

くわしくは“プリセット”の項目をご覧ください。

b. チューナーの選択

KUDOS

単体タイプの KUDOS は通常、アンプのチューナー入力に接続されています。
TUNER ボタンを押すなど、それぞれのアンプの操作方法に従って、チューナー
入力を選択してください。

sneaky KUDOS

sneaky KUDOS はアンプに内蔵されていますので、アンプのチューナー入力は
必要ありません。AUX端子としてご利用下さい。

他の入力ソースをご使用中の場合

フロントパネル：INPUT ボタン

全機種対応リモコン：ZONE ボタン

MAJIK 専用リモコン：MATRIX ボタン

のいずれかを使ってチューナー入力を選択してください。

c. 周波帯の選択

AM/FMの変更は BAND ボタンを押して行ってください。

d. チューニング

チューニングは、直接入力することも出来ますが、スキャンにより、自動的に次の放送局をさがすことも可能です。スキャン時にはチューナーはミュートイング・スレッシュホールドで設定した値以上の放送局のみピックアップします。くわしくは“ミュートイング・スレッシュホールド”の項目をご覧ください。

1) マニュアル選局

お聴きになりたい放送局の周波数を、フロントパネル、全機種対応リモコンでダイレクト選局することができます。

1. フロントパネルの TUNING ボタンを、SCAN、PRESET の文字が消え、ディスプレイに周波数が表示されるまで何度か押してください。
(MAJIK/WAKONDA 搭載型 sneaky KUDOS の場合、TUNE ボタンを押して行ってください)
2. ◀ もしくは ▶ ボタンによりお聴きになりたい周波数を選択してください。
(ボタンを押し続けると速く変更できます)

リモコン操作： TUNE ボタンを押して、チューニングモードを選択、
+、- ボタンで周波数変更を行ってください。

2) 周波数のリモコンダイレクト選局

全機種対応リモコンの操作によりダイレクトに周波数を入力することが出来ます。

1. CDなど他の入力ソースをご使用の場合は、まずリモコンの TUN ボタンを押してチューナー入力に切り替えてください。
(sneaky KUDOS の場合、ZONE ボタンを押して行ってください)
2. TUNE ボタンを押してチューニングモードを選択してください。
3. FMは50 kHz、AMは1 kHz 単位で周波数を入力してください。
例) 82.5MHz なら 8250
1242kHz なら 1242 と入力します。

e. 放送局のスキャン

1. ディ스플레이に SCAN が表示されるまで、TUNING ボタンを何度か押してください。(MAJIK/WAKONDA 搭載型 sneaky KUDOS の場合、TUNE ボタンを押してください)
2. もしくは ▶ ボタンを軽く 1 回押して周波数を変更してください。
次の放送局に来るとスキャンングをストップします。

放送局の周波数に到達する前にスキャンングを中止する場合、もう一度 TUNING ボタンを押してください。

(sneaky KUDOS の場合、TUNE ボタンを押してください)

◀ もしくは ▶ ボタンを押し続けると、各放送局でストップすることなく周波数変更を行います。ボタンから手を離すと通常のスキャンングに戻ります。

注意： スキャンング時において正確なチューニングを行うために KUDOS は自動的にナローモードを選択します。より良い受信のためのワイドモードへのご変更はスキャンング終了後に行ってください。

リモコン操作： SCAN ボタンを押してスキャンモードを選択、
+、- ボタンで周波数変更を行ってください。

f. プリセットの方法

KUDOS は50局までのプリセットが可能です。プリセットされた放送局を選択されるには、プリセットナンバーを押していただくだけで、ダイレクトに選曲できます。プリセットはAM/FM両方にまたがって行えます。周波数だけでなく、ステレオ/モノラル、ナロー/ワイドのセレクトも同時にプリセット出来ますので、よりよい受信が可能です。

1) フロントパネルからのプリセット

1. お聴きになりたい放送局にチューニングしてください。(NARROW/WIDE、MONO/STEREO は、いずれも受信状態の良い方を、お選びください。)
2. TUNING ボタンを押して、ダイレクトチューニングモードにしてください。(ディスプレイ右側の、PRESET、SCAN が、両方とも消灯している状態)
3. 次に、TUNING ボタンを、押したままの状態にして、ディスプレイの表示が、シグナル表示から、スレッシュールド表示にかわるのを確認して、指を離してください。(例：S 75 → TH 2)
4. スレッシュールド表示を確認したら、今度は軽く一度だけ TUNING ボタンを押してください。表示は、ストアモードにかわります。(例：ST 22)
5. ここで、プリセット番号を、◀ もしくは ▶ ボタンを使ってお選び下さい。
6. 番号が決まったら、TUNING ボタンを、約2秒押したままの状態にしてください。ディスプレイには、プリセットモードが表示されます。(例：P 22)

これでプリセットは完了です。

2) リモコンでのプリセット

全機種対応リモコンを使っでのプリセットは以下の通りです。

1. お聴きになりたい放送局にチューニングしてください。（ **NARROW / WIDE** , **MONO / STEREO** は、受信状態の良い方を、お選びください。）
2. **STORE** ボタンを押してください。
3. +、- ボタンでプリセット番号をお選びください。（例：ST 12）
4. 番号が決まったら、**STORE** ボタンを、約2秒押ししたままの状態にしてください。ディスプレイには、プリセットモードが表示されます。（例：P 12）
5. プリセット作業をお止めになりたいときは、どれかボタンを押してください。通常の操作状態に戻ります。

3) プリセットの解除

1. プリセット時と同様にストアモードを選択します。
2. 解除したいプリセット番号を、◀ もしくは ▶ ボタンを使ってお選び下さい。（例：ST 14）
3. フロントパネルの **TUNING** ボタン（リモコンでは **STORE** ボタン）を、ストア表示からクリア表示に変わるまで押し続けて下さい。（例：ST 14 → C 14）
4. 工場出荷時の状態に戻ります。

g. 放送局の選択

1) プリセットされた放送局の選択

1. TUNE ボタンを、ディスプレイに PRESET が表示されるまで押します。
2. ◀ もしくは ▶ ボタンを押してお聴きになりたい放送局を選択します。
(ボタンを押し続けると速く変更できます)

リモコン操作

全機種対応リモコンの場合

1. PRESET ボタンを押し、プリセットモードを選択してください。
2. +、- ボタンでお好みの放送局を選択します。

MAJIK 専用リモコンの場合

TUNER の▼ ▲ ボタンで選択します。

(プリセットモードが選択されていない場合、自動的にプリセットモードに変わります。)

2) プリセットされた放送局のダイレクト選局

全機種対応リモコンを用いてプリセットされた放送局をダイレクトに選局します。

1. CD等、他の入力ソースをお聴きの場合、リモコンの TUN ボタンを押して、チューナー入力を選択してください。
(sneaky KUDOS の場合、ZONE ボタンを押してください)
2. PRESET ボタンを押して、プリセットモードを選択してください。
3. 0から9まで リモコンのお選びになりたい番号を押してください
10以上 1) まず、2桁目から入力します。
 2) 2桁目の数字を、ディスプレイの数字が左にずれるまで
 押します。
 3) 次に1桁目の数字を押します。

h. プリセットされた周波数の表示

プリセットナンバーを選択後、選択された放送局の周波数を表示するには、TUNING ボタンを押して行います。

(sneaky KUDOS の場合、TUNE ボタンを押します)

i. 信号強度の表示

お聴きになりたい放送局のより良い周波数の選択、またアンテナのセッティングのため、チューナーには信号強度の表示が可能です。

信号強度は0-99 dB μ V の範囲で表示されます。

AMチューナーの場合、良好な受信には30から50 dB μ V、

FMチューナーの場合、70 dB μ V以上が望ましいでしょう。

1. シグナル表示になるまで本体の TUNING ボタンを押し続けてください。
(sneaky KUDOS の場合、TUNE ボタンを押して行ってください)
2. 現在の信号強度が表示されます。(例：S 75)

j. ミューティング・スレッシュヨルド

チューニング、スキャンングの際、弱い信号の放送を選択しないようにするミューティング・スレッシュヨルド機能をセットすることが出来ます。

ミューティング・スレッシュヨルドの設定値以下の信号は消音されるため局間ノイズが取り除かれます。またスキャンング時、これ以下の信号は飛ばしてスキャンされます。ミューティング・スレッシュヨルド付近の信号はノイズを軽減するためモノラルにセットされます。

1) 設定

出荷時、ミュート・スレッシュホールドは2にセッティングされています。
お客様のお好みで0から4までの設定が可能です。（下の表をご覧ください）

スレッシュホールドの設定	ミュートする信号強度
0	すべての信号を受信します。FMの場合、放送局間に大きなノイズが発生します。
1	10 μ V 以下の信号をミュートします
2	20 μ V 以下の信号をミュートします
3	30 μ V 以下の信号をミュートします
4	40 μ V 以下の信号をミュートします

AM、FMで異なるミュート・スレッシュホールドを設定することが出来ます。

2) 変更

1. TUNING ボタンを SCAN、PRESET 表示が消えるまで何度か押ししてください。（sneaky KUDOS の場合、TUNE ボタンを押し続けてください）
2. シグナル表示になるまで TUNING ボタンを押し続けてください。
3. 現在のミュート・スレッシュホールドが、ディスプレイに表示されます。
（例：TH 2）
4. ◀ もしくは ▶ ボタンにより、ご使用になりたいスレッシュホールドに設定します。
5. 別の帯域のスレッシュホールドも変更される場合は、BAND ボタン（sneaky KUDOS の場合、AM/FMボタン）を押し変更して下さい。
6. 最後に TUNING ボタンをディスプレイが PRESET を表示するまで押し続けてください。（sneaky KUDOS の場合、TUNE ボタンを押します）

これで新しいミュート・スレッシュホールドがセットされました。

5. より良い受信のために

KUDOS は条件の悪い受信状況からでも、優れた音楽再生が得られるよう設計されています。しかしよりすぐれた再生を行うためには高品質の信号を受信することが不可欠です。受信に悪影響を与える信号には次の2種類が考えられます。

- 信号強度が不十分なため、ヒスノイズが聞こえる
- 干渉のため、ブーンという音が聞こえる

この章では KUDOS から、出来るだけ優れたAM/FM再生を得られるようガイドラインをご説明させていただきます。

a. FMの受信

1) ノイズの低減

最適な信号とノイズの比率を得るためには、アンテナから少なくとも70 dB μ Vの信号強度を得ることが必要になります。これ以下の信号では弱い放送局の放送のバックにヒスノイズを生じることがあります。

信号強度が高いことは、欠点ではありません。しかし、99 dB μ V以上の大入力局に対しては、RF低減装置、小型アンテナをご使用いただく必要のある場合がございます。

2) 干渉の低減

お近くの放送局からの干渉、コンピューターなどからの電氣的ノイズは信号の後ろでのノイズを生みます。KUDOS は干渉を最少に押さえるよう設計されていますが、以下のガイドラインは不可避免的に生ずる干渉を回避するためお役にたつものと思われま

- 近隣のFM放送局の信号をカットするため、狭い帯域を御選択下さい。
- 干渉が信号強度の高い放送局からの干渉である場合、アンテナの方向を変えてみてください。
- 近くの電子機器がその原因となっている場合もございます。その場合、アンテナの位置を移動してみてください。
- 必要な大きい信号のみをピックアップし、それ以外を排除するよう、より正確に設置してください。

以上の点をお試しになっても効果がない場合は、モノラル再生を行っててください。ステレオ再生には向かない信号がモノラル再生ではよい音となるケースがしばしばございます。

3) ひずみの低減

干渉が問題である場合を除いて、ワイドモードを選択することによって最良の音質が得られます。

b. AMの受信

AMの再生はFMのに比べ良質とは言えませんが、アンテナを正しくセットしていれば、KUDOS チューナーは優れたAM再生を行うことが可能です。

1) ノイズの低減

AMにとっては信号強度はFMよりも重要性は高くありません。干渉がそれほど高くなければ、30 dB μ Vでも大丈夫ですし、50 dB μ V以上の信号強度のメリットはありません。これ以下の信号の場合、アンテナを良くされることによって効果が期待できます。

99 dB μ V以上の大入力局に対しては、過負荷防止のためRF低減装置、小型アンテナをご使用いただくことをお勧めいたします。KUDOS がこれによってダメージを受けることはございませんが、付近の弱信号を受信するのを防止できます。

2) 干渉の低減

FM同様、他局、電子機器からの干渉を受けることがあります。

干渉を防ぐ最適の方法は、原因となる電子機器などから離して設置しなおす、干渉を引きおこしている放送局の影響を受けないような向きにアンテナを修正するなどの方法が効果的です。

干渉は帯域を狭めることにより、低減することができます。また意識的に正しい周波数より4 kHz 上げてチューニングすることにより上下の放送局からの影響を減少させることも出来ます。ただしこれらの方法は、高音域のレスポンスが犠牲になることとなります。

夜間には受信コンディションは大きく変化します。このため昼間は明瞭であった放送局が夜間には干渉をうけることもあります。

3) 音質を最良にするには

干渉が問題である場合を除いて、ワイドモードを選択することによって最良の音質が得られます。

	高域特性
ワイドモード	7KHz
ナローモード	3.5KHz

6. 仕様

a. チューニング

受信周波数	FM: 75.5~90.5Mhz
	AM: 530~1730kHz

受信周波数がエリアにより異なるため、KUDOS は日本仕様モデルが生産されております。日本仕様から他仕様への受信周波数の変更、また他のエリア仕様（USA、ヨーロッパタイプ）からの日本仕様への変更はできません。ご了承下さい。

チューニング・リゾリューション

AM チューン・モード	: 1 kHz
スキャン・モード	: 10 kHz
ダイレクト周波数入力	: 1 kHz
FM チューン・モード	: 100 kHz
スキャン・モード	: 100 kHz
ダイレクト周波数入力	: 50 kHz

プリセットチューニング 50局まで可能
各局のプリセットごとに
AM/FM選択、周波数、ステレオ/モノラル、
ワイド/ナロー、の個別設定が可能

信号強度メーター 0から99dB μ Vまで表示

ミュート/スキャン スレッシュホールド
すべての情報を受信する設定値0から、40dB μ V
以下はミュートする設定値4まで5段階の設定が可能

b. 仕様

寸法	幅	320mm
	奥行き	326mm
	高さ	80mm
	重量	3.3kg
消費電力		20W (max)
電源、ヒューズ		100V 0.8A
許容電源電圧		100V
入カインピーダンス		FM: 75 Ω 同軸 (不平衡) AM: ループアンテナ用ネジ式
キャプチャー幅		ワイド/ナロー
出力	端子	RCA PHONO
	出力レベル	775mV _{rms}
	出カインピーダンス	100 Ω
	最少負荷	1k Ω

7. 安全にお使いいただくために

危険

カバー内部には、ユーザーの方ご自身がメンテナンス可能なパーツは含まれておりません。カバーは取り除かないでください。内部にものが入った、等の場合はお買い求めのリン販売店まで、ご連絡下さい。

ヒューズ交換の際は、必ず元と同じタイプのものをご使用下さい。

ヒューズ交換前には、必ずコードを先に抜いてから行ってください。

本品は、それぞれ国ごとに異なった電源コードと共に出荷されています。

電源コードの付け換えはご自身でなさらないでください。

アフターサービス

製品に対するお問い合わせは正規販売店に御相談ください。なお、許可なく改造や修理をされた場合には保証書によるお取り扱いができないことがあります。御不明の点は最寄りのリン販売店にご相談ください。

- 1 ご利用いただく前に必ず取扱説明書（本冊子）にて安全な利用方法をご確認下さい。
- 2 後々のご利用のため、取扱説明書は必ず捨てずにお持ちください。
- 3 取扱説明書には様々な注意点が書かれています。必ずそれらを守ってご使用下さい。
- 4 取扱説明書の使用方法に従って製品をご利用下さい。
- 5 水の近く、例えば浴槽、洗面所、洗濯機等の近くに設置しないでください。
- 6 販売店のお勧めするスタンドをご使用下さい。
製品を可動式台に設置してのご利用は注意深く行ってください。急に動かしたり、平らでない面に置いたりすると転倒の原因となります。
- 7 壁面、天井への据えつけは販売店にご相談ください。

- 8 製品には換気が必要です。ベッド、ソファ、などの換気を妨げるものの上への設置、または埋込式設置、キャビネットのなかへの設置などは、製品の換気を妨げますのでなさないでください。
- 9 製品は熱を嫌います。ラジエーター、ヒーター、ストーブなど熱源のそばに設置しないでください。
- 10 取扱説明書に記載、もしくは製品に記された電源にのみ接続してください。
- 11 製品には必ずアースをおとりください。また、ケーブルの極性にご注意ください。
- 12 コードは製品につぶされないようご注意ください。またプラグ、ソケット、製品との接点にはご注意ください。
- 13 製品は取扱説明書または販売員のお勧めする方法にしたがってクリーニングを行ってください。
- 14 電源ライン付近にアンテナを設置しないでください。
- 15 チューナー/レシーバーに屋外用アンテナを取り付ける際には、急激な電熱変化、静電気の蓄積を防ぐためにアースを取り付ける必要があります。
- 16 長期間ご使用にならない場合は、差し込み口からプラグを抜いてください。
- 17 製品の内部にもものや液体が入らないようご注意ください。
- 18 以下のような症状が発生したら、販売員までご連絡下さい。
 - a) 電源コード、もしくはプラグが破損したとき
 - b) 製品の内部にもものが入った場合
 - c) 製品がぬれた場合
 - d) 正常に作動しなかったり、演奏中に表示が変わったりした場合
 - e) 製品が落下したり、内部に損傷が生じた場合

8. 保証とサービス

リンの製品は、お買い求めになった国の条件の元に保証をされております。規定の条件に加え、製造段階における瑕疵があった場合には、どの部分でも部品交換いたします。円滑な保証と修理をお約束するためにも保証登録申込書のご記入とご返送にぜひご協力ください。（ご返送先：株式会社 リン ジャパン）

注意： リンの製品の修理は、リン特約店にお任せください。特約店以外の修理や部品交換等をなさいますと、製品保証が出来なくなりますのでご注意ください。

お手持ちの製品について御不審な点がございましたら、最寄りのリン販売店までご連絡下さい。

*領収証は御購入日確認のため必要です。大切にお持ちください。

*修理のための運搬時の破損はお客様御負担とさせていただきますのでご注意ください。

總輸入代理店

株式会社 リン ジャパン

フリーダイヤル:0120-126173